

令和3年1月26日

宮池小学校保護者のみなさま

半田市立宮池小学校長 村上 信彦

令和2年度「学校評価アンケート」の結果について

厳冬の候、保護者のみなさまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、12月に全校児童、保護者を対象に実施いたしました「学校評価アンケート」に、
ご多用の中ご協力いただきありがとうございます。集計結果（裏面）と考察を下記のよう
にご報告いたします。

記

1 回収率

保護者アンケートの回収率 96% 児童アンケートの回収率 96%

2 評価基準

アンケートには Aよくあてはまる Bだいたいあてはまる
Cあまりあてはまらない D全くあてはまらない

で回答していただき、AまたはBの回答の合計を全体の数で割ったものをAB率とし、
AB率が85%以上の場合を「肯定していただいた」と解釈することにしております。

3 考察

(1) 保護者アンケートについて

12項目中10項目でAB率85%以上でした。本年度は、新型コロナウイルスの
影響で、新学期の開始の遅れや行事の中止・縮小等で本校の教育活動を十分お伝えす
ることができなかったにも関わらず、高い評価をいただくことができました。

項目5の「子どもは、地域の行事に積極的に参加している。」では、肯定が52%で
したが、本年度は、コロナ禍で地域の行事も中止となっていることも多く、回答への
影響があったように思われます。次年度の感染状況は不明ですが、経年の変化をみる
ためにこの質問項目が残してありますのでご了承ください。

また、項目10の「子どもは、将来の夢をもち、それに向かって努力している。」で
は、昨年度よりやや増えたものの肯定が65%と低い結果となりました。半田市では、
キャリア教育を推進しています。本校でも、各教科や総合的な学習の時間の他、行事
や当番活動を含めた全ての教育活動をとおして指導をしております。その成果もあり、
児童アンケートの同項目では、81%と高い評価を得ることができました。

自由記述には、学校の取組に温かいお言葉をたくさんいただきました。ご意見の中
には、子どもたちのあいさつについてのご意見がありました。地域の方や交通立番をされ
ている方が「おはようございます」と声をかけても返してもらえないといった内容でした。
校内でのあいさつ運動ではあいさつができるのですが、ふだんの生活ではなかなかできて
いないのが現状です。いつでも気持ちのよいあいさつができるように呼びかけていきます。

(2) 児童アンケートについて

11項目中、8項目でAB率が85%以上でした。この結果から、コロナ禍におい
ても本年度の教育活動について、児童がおおむね肯定していることがわかりました。

項目2の「学校では、自分がこまったときに、先生に話をしたり、相談したりして
いる」では、66%と低い結果となりました。児童の困り感を早期に発見し、温かく
受け止め、信頼される教師をも目指していきます。特に、本年度は、新型コロナウイルス
の影響により教育現場も対応に追われ、教師が子どもとゆっくり向き合う時間が
なかったことも原因の一つと考えます。本年度は、半田市より心の教室相談員が配置
され、児童に声をかけるとともに相談を受けています。また、学校としても教育活動
の見直しを図り、子どもとふれあう時間を増やしていきたいと思っております。

たくさんのご意見ありがとうございました。今後も、教職員一丸となって、今回いただ
いたご意見を生かして、本校の教育活動に真摯に取り組んでまいります。